

第26回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年12月

応募者名: 石川県土木部都市計画課

事業の名称: 都市計画道路片山津中央線街路事業

実施都市名: 石川県加賀市片山津温泉

事業目的

片山津温泉は、白山連峰を背景に柴山湯と一体となった美しい眺望景観を有し、良質な泉質を誇る全国でも有数の温泉地として発展してきたが、近年の厳しい社会情勢や観光ニーズの多様化などにより、温泉地を訪れる入込客数は年々減少しており、一日も早い温泉街の再生と賑わいの創出がもめられていた。

そのため、温泉街のメインストリートである都市計画道路片山津中央線において、無電柱化や安全で快適な歩行空間の形成により、温泉街の活性化と賑わい創出を目的に事業を実施したものである。

事業概要

事業名称:都市計画道路 片山津中央線街路事業

路線名:都市計画道路 片山津中央線

事業箇所:石川県加賀市片山津温泉

事業延長:L=212m

幅員:W=12m

事業費:707百万円

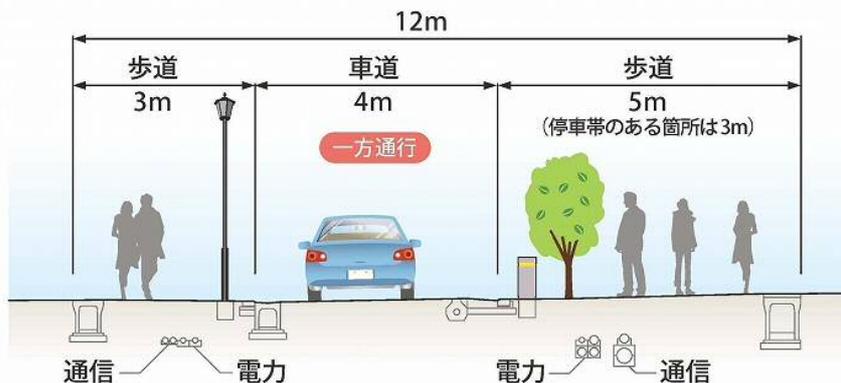
事業実施期間:平成15年～平成24年

本事業は、温泉街の活性化、賑わい創出に寄与するため、無電柱化、一方通行化による歩行者優先のゆったりとした歩道の整備により、安全で快適な歩行空間を創出するとともに、地域のシンボルである「検番」と調和した自然石舗装や温泉街周辺の豊かな自然や歴史をテーマとした「片山津かるた」を歩道に埋め込むなど、地域資源を活かした修景整備を行った。

事業位置図



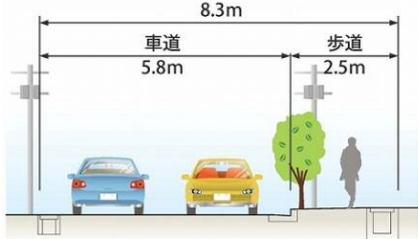
全体図(平面図・側面図・横断面図)



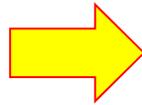
片山津中央線の整備効果アピール資料

●快適な歩行空間の確保

【整備前】



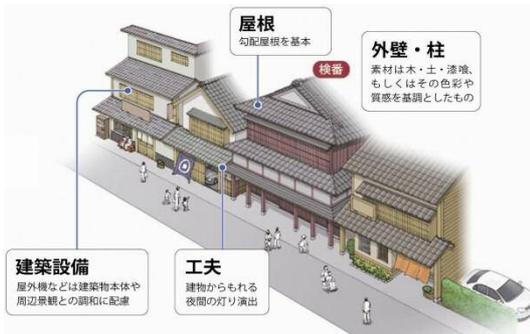
【整備後】



双方向通行から一方通行化による
ゆったりとした歩道の整備



●地域資源による魅力向上



地区計画により地域のシンボルである「検番」
を活かした統一感のある街なみの形成
※検番

大正から昭和にかけて芸妓の旅館などへの
取次事務や芸妓養成の拠点



「検番」のベンガラ格子と
調和した錆茶色の自然石舗装



歩道の「片山津かるた」
(地元の方々が創作)

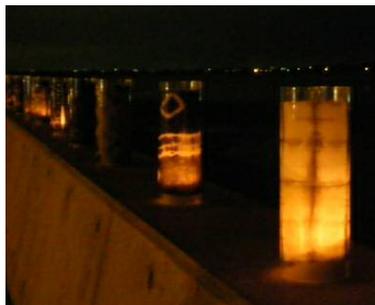


景観に配慮した
屋外広告物
(エコサイン)

●住民による賑わい創出活動



オープンカフェ



行灯によるライトアップ



片山津かるた大会

事業前写真

平成14年11月撮影



事業前写真1

平成14年11月撮影



事業前写真2

平成14年12月撮影



事業前写真3

事業後写真

平成25年1月撮影



事業後写真1

平成25年1月撮影



事業後写真2

平成25年4月撮影



事業後写真3